

もっとアフリカを知り、経済、技術、文化の交流を促進します



月刊アフリカニュース

2014年 6月 15日

No. 14

目次

	ページ
タンザニア・ビジネスニュース	1
南アフリカ月報	2
モザンビーク月報	3
ルワンダ月報	4

タンザニア・ビジネスニュース (2014年5月)

[5月上旬期]

- (1)タンザニア港湾局、コンゴ(民)に連絡事務所を開設。
- (2)原皮の密輸出対策強化。
- (3)「石油・ガス産業ローカルコンテンツ政策案-2014年」を発表。
- (4)ファストジェット社(格安航空会社)、エクスペディア・グループ(世界最大オンライン旅行会社)とパートナーシップ合意。
- (5)キバラン・リソース社(グラファイト、ニッケル生産)、リッチランド・リソース社との間でJV予定。
- (6)産業貿易副大臣、果物加工業への支援呼びかける。
- (7)アグロ・エコ・エナジー社、サトウキビ農場事業を開始。
- (8)貿易額の不正申告で税収減。
- (9)ナイジェリアのダンゴート・セメント社、タンザニアに進出。
- (10)農業向けモバイル・ソリューション支援提供。
- (11)証券市場における外国人投資家に対する規制緩和。
- (12)デング熱の急増に伴う注意喚起。

<http://www.tz.emb-japan.go.jp/tanzania/news/2014051h.htm>

[5月下半期]

- (1)タンザニア北部、ソーダ灰生産 2014 年末頃開始予定。
- (2)蘭の Iv グループ、アルーシャの水プロジェクトに進出。
- (3)「アフリカ経済見通し 2014 年」(AfDB、OECD による)の発表。
- (4)仏 WFS (フライトサービス)、JNIA にてグランドハンドリング開始。
- (5)第 4 回タンザニア沖・タンガニーカ湖鉦区のライセンス供与ラウンドの終了。
- (6)タンザニア中央銀行、2014 年 4 月月例報告の発表。
- (7)非関税障壁を 15 から 3 に削減予定。
- (8)皮革産業の改革計画の発表。
- (9)住友化学イーストアフリカ社の設立。
- (10)ナクマツト (ケニア)、タンザニアにおけるショップライト 3 店舗 (南ア) を買収。
- (11)ダルエスサラーム港への世界銀行の支援。
- (12)NEC、TTCL とマイクロ波無線リンク導入。

<http://www.tz.emb-japan.go.jp/tanzania/news/2014052h.htm>

南アフリカ月報 (2014 年 5 月)

【内政】

- 7 日、総選挙の実施。
- 10 日、総選挙の結果発表。
- 21 日、国民議会(下院)議長・副議長の選出、下院におけるズマ大統領の選出、各州新首相の選出。
- 22 日、全国州評議会(上院)議長・副議長の選出。
- 24 日、プレトリアにおいて、大統領就任式典が挙行。ズマ大統領によるスピーチ。
- (1)民主化 20 周年、(2)革新的 (radical) な社会経済変革政策の実施、(3)広範囲の黒人優遇政策(BBBEE)の拡大等について演説した。
- 25 日、新閣僚名簿の発表。
- 26 日、新閣僚が宣誓・就任。

【外交】

- 2 日、南ア・パレスチナ二国間協議の開催。
- 5 日、南ア政府、総選挙のための国際選挙監視団を歓迎する声明を発表。
- 14 日、南ア・ポーランド・ディスカッション・フォーラムの開催。

【経済】

- 2014 年第 1 四半期の南アの経済成長率、0.6%減。鉦業部門は 24.7%急落し、1967 年第

2 四半期以来 50 年ぶりの落ち込みとなった。

- 貿易収支は赤字、輸出は 3%減少、輸入は 11.6%増加した。
- 雇用、2014 年第 1 四半期の失業率は、昨年第 4 四半期の 24.1%から増加し、25.2%となった。職探しをする失業者の数は増加しており、約 510 万人となっている。
- 4 月の消費者物価指数(CPI)、6.1%の上昇でインフレ目標上限超す。
- 大手信用格付機関は、南アソブリン債の格上げを望む場合、新内閣は、経済成長と雇用創出を促進する政策を実施しなければ行けないと警告した。
- プラチナ産業における労働ストライキは継続している。

http://www.za.emb-japan.go.jp/jp/downloads/SANews/May_2014.pdf

モザンビーク月報 (2014 年 5 月)

【内政】

- 政府・レナモ間対話にて、レナモ側は継続して国防・公安機関における平等な編成 (palidade)を主張。また、26 日の対話にて、政府側は、ドゥラカマ・レナモ党首のマプトまでの旅費支給を提案するものの、レナモ側は受け入れず。
- レナモ武装勢力による小規模襲撃がおきている。
- 有権者登録が 5 月 10 日に終了。登録率は 87%強を記録。
- ゲブーザ大統領はオープン・プレジデンシーの一環で、イニャンバネ州、ガザ州、マプト市にて遊説を実施。

【外交】

- バロイ外務協力大臣は、ポルトガル及びカーボ・ヴェルデの 2 カ国を訪問。

【経済】

- 6 日、閣議においてモクバ郡の経済特区(ZEE)指定が採択された。
- 10 日、ロヴマ沖 Area1 掘削中の Anadarco 社は、掘削泥水の油性物質 3 万リットルを海中に流出させる事故を起こした。
- 28 日、テテ州ムタララ郡シャフンディアラにて Vale 社炭鉱からベイラ港へ石炭を輸送していた列車が脱線・転覆した。
- マプト、ストーラ、マラクエーネを結ぶ天然ガス供給主要パイプ設備工事が完了し、大型消費者への供給が 30 日より開始された。
- Vale はモアティーゼ炭鉱地域から移転させられた 396 世帯家族に対する補償支払いを開始、一方、オペレーションコスト増に伴い第 1 四半期は 44 百万米ドルの損失を計上。

<http://www.mz.emb-japan.go.jp/1405.pdf>

ルワンダ月報(2014年5月)

【内政】

- 新規最低賃金の設定のスケジュールの発表。
- 16日、Human Rights Watch は本年3月以降国内で強制失踪又は行方不明と報告されている人の数が増加し、これまでに14名に上るとした。ルワンダ国家警察は、右主張は証拠のない虚偽のものであると述べた。

【外政】

- 3日、カガメ大統領が世界情報通信社会賞 2014 を受賞。
- 11日、東アフリカ共同体(EAC)統合(中国による対ケニア標準軌鉄道整備支援協定への署名)。
- ルワンダ、ケニア及びウガンダ在住の外国人は、3カ国を自由に行き来できる6ヶ月の観光ビザ申請が15日から可能となる。
- 北部回廊統一事業(域内の自由労働移動)への協定の準備中。

【経済】

- 4月1日、2014/15年度予算案の提出。
- 3日、世界銀行の対ルワンダ支援(元兵士の社会復帰事業)の承認。
- 6日、政府のマラリア撲滅政策、2018年までに木滅目標。
- 20日、第49回アフリカ開発銀行年次総会開催。

サイドイベントとして、女性の権利強化が強調された。オコンジョ・イウェアラ・ナイジェリア財務大臣は、アフリカ諸国の成長はジェンダー間の不平等を解消する一助となっておらず、少女に対する教育普及及び経済的権利強化が重要である旨述べ、ジェンダー平等を実現するための男性に対する教育が重要であることを強調した。

●22日、カガメ大統領は第49回アフリカ開発銀行(AfDB)年次総会開会式において、我々は徐々に前進している、アフリカ中で再び「上昇するアフリカ」というフレーズが使われていると話し、AfDBをアフリカと世界をつなぐ重要なかけ橋であると称えた。

- 中国政府とアフリカ開発銀行が「アフリカ共同成長基金」設置に合意。

http://www.rw.emb-japan.go.jp/rwanda_news_2014.5.pdf